いわき市ICT利活用社会推進計画の概要

第１章　計画策定の概要（P2～P4）

1　計画策定の趣旨（P2）

これまでの「いわき市地域情報化推進計画（H28-R2）」を継承しながら、新時代のICT利活用による地域情報化を進め、安全・安心、快適で便利な、魅力と活力のある豊かな社会づくりを推進していくため、新たに「いわき市ICT利活用社会推進計画」を策定するものです。

2　計画の位置付け（P2～3）

- 「まちづくりの経営指針」を踏まえ、各分野にわたる諸施策を情報化の視点から総合的、体系的に整理し、情報化の分野から支え、展開していくための政策広範にわたる計画。
- 「官民データ活用推進基本法」第９条第３項に基づく「市町村官民データ活用推進計画」。

3　計画の期間（P4）

令和３年度～令和７年度（５年間）

第２章　計画策定の背景（P6～P14）

1　社会情勢の変化（P6）

⑴　人口減少と少子高齢化

市の将来人口の推計では、2015年の350,237人から2060年には173,782人にまで減少し、高齢化率も48.2%に達することが見込まれます。

⑵　東日本大震災、令和元年東日本台風、新型コロナウイルス感染症等の影響（P7）

大規模災害発生時の情報伝達手段等としてパソコンやスマートフォンなどICTが果たす役割の重要性が増しています。

新型コロナウイルス感染症を契機にテレワークやオンライン授業などの新たな働き方やデジタル化が加速しています。

2　ICTの進展と社会に与える影響（P8～11）

⑴　インターネットとスマートフォンの普及

利用端末の主役はパソコンからスマートフォンに交代し、常にインターネットを利用できる環境が整備されています。

⑵　デジタル技術の革新

IoT、ビッグデータ、AI、５Ｇなどによって新たな製品・サービスなどを生み出す「第４次産業革命」が世界中で進行しています。

⑶　情報セキュリティの重要性

サイバー攻撃は巧妙化・高度化し続けており、情報セキュリティの強化・範囲拡大が求められています。

⑷　「Society 5.0」の実現

IoTやAIなどをあらゆる産業や社会生活に取り入れる新たな社会の実現に向けた取組みを推進していく必要があります。

⑸　マイナンバー制度の開始

国の動向等を注視し、業務効率化や市民サービス向上等に向けた制度運用を行っていく必要があります。

3　国の動向（P11～12）

「官民データ活用推進基本法」や「デジタル手続法」の施行などにより、安全・安心で豊かさを実感できるデジタル社会の実現に向けた取組みを推進していく必要があります。

4　県の動向（P12～14）

令和元年度から３年間を計画期間とした「ふくしまICTデータ利活用社会推進プラン」を策定し各種施策を展開しています。

第３章　これまでの情報化への取組み（P16～18）

1　いわき市地域情報化基本計画（H14-H22）（P16）
2　新・いわき市地域情報化計画（H23-H27）（P16～17）
3　いわき市地域情報化推進計画（H28-R2）（P17～18）
4　今後も取り組むべき事業（P18）

今後も引き続き推進していく必要があるものについては、必要な見直しを行った上で、本計画でも取組みを継続します。

第４章　本市が抱える情報化に向けた課題（P20～22）

1　社会情勢を踏まえた課題（P20）

人口減少・少子高齢化、大規模災害と新型コロナウイルス感染症等の影響

2　ICTの進展を踏まえた課題（P20）

先端情報技術への対応、情報セキュリティの強化・範囲拡大、Society 5.0の実現、スマート自治体への転換

3　国の動向を踏まえた課題（P20～21）

オンライン化原則、オープンデータ推進、マイナンバーカード普及・活用、デジタルデバイド対策、システム標準化　など

4　県の動向を踏まえた課題（P21）

復興の推進、安全・安心・健康なくらし、産業振興・地域活性化、教育・ICT人材育成、電子自治体

5　アンケートから抽出された課題（P21～22）

情報発信・情報共有、情報格差への対応、行政手続きのオンライン化拡充、情報教育環境の充実　など

第５章　情報化の理念と基本方針（P24～26）

1　情報化の理念（P24）

新時代のICTの積極的な活用により、更なる地域情報化を推進することで、市民の皆様の安全・安心を確保し、快適で便利な魅力と活力のある豊かな社会「スマート社会 いわき」を実現するため、基本理念を次のように掲げます。

地域情報化が創る「ｉスマート社会 いわき」

2　情報化の基本方針（P25）

基本方針１　ICTを活用した安全・安心で健康なくらしの確保

ICTを活用することにより、生命・財産を守るための取組みや、保健・医療・福祉サービスの充実、並びに子育て・教育支援を推進し、安全・安心で健康なくらしを支えます。

基本方針２　ICTを活用した簡単・便利な行政サービス

インターネットやマイナンバーカードの利活用により、行政手続きのオンライン化を推進するとともに、多様な媒体を活用した積極的な情報発信を展開し、必要なときに簡単に利用することができる行政サービスの提供を目指します。

基本方針３　ICTを活用した魅力と活力のあるまちづくり

市民、事業者、各種団体の皆様と情報や技術の共有を図り、情報通信基盤の整備を推進し、先端情報技術を積極的に活用しながら、魅力と活力のあるまちづくりを進め、豊かないわきの実現を目指します。

基本方針４　ICTを活用した簡素で効率的な行政運営

AIやRPAなどの積極的な導入を図ることで行政の効率化を進めるとともに、セキュリティの強化や本市の情報化を管理・推進するための体制の充実に努め、地域情報化を推進します。

第６章　情報化施策の柱と施策（P28～34）

４つの基本方針に対し、11の施策の柱、24の施策を設定します。

基本方針	施策の柱と施策
基本方針1　**ICTを活用した安全・安心で健康なくらしの確保**	⑴　安全・安心の確保 ○　防災・防犯体制の確保 ○　災害時・非常時の対応 ○　安全な生活環境の確保 ⑵　保健・医療・福祉サービスの充実 ○　健康増進への取組み ○　医療・福祉サービスの充実 ⑶　子育てと教育支援 ○　子育て支援の充実 ○　教育支援の充実 ○　情報教育の強化
基本方針2　**ICTを活用した簡単・便利な行政サービス**	⑴　行政手続きのオンライン化の推進 ○　オンライン化の推進 ○　キャッシュレス決済の推進 ○　マイナンバー制度の適切な運用 ⑵　積極的な情報発信と情報共有 ○　多様な媒体を活用した情報発信 ○　魅力あふれる情報発信の充実 ⑶　情報システムの活用による行政サービスの向上 ○　情報システムの活用による行政サービスの向上
基本方針3　**ICTを活用した魅力と活力のあるまちづくり**	⑴　情報基盤の整備 ○　地域情報化を進める情報通信基盤の整備 ○　デジタルデバイド（情報格差）対策 ⑵　産業の振興と共創によるまちづくりの推進 ○　産業の振興とオープンデータの推進 ○　共創によるまちづくりの推進 ⑶　先端情報技術を活用したまちづくり ○　先端情報技術を活用した取組み
基本方針4　**ICTを活用した簡素で効率的な行政運営**	⑴　業務への情報システムの活用 ○　情報システムの安定稼働 ○　働き方改革に向けたICTの活用 ○　情報システムの最適化・標準化 ⑵　情報セキュリティの強化と情報化推進体制の確保 ○　情報セキュリティの強化 ○　情報化推進体制の確保

第７章　施策の実現に向けた事業の展開（P36～67）

施策を実現していくための事業を位置付けます。

新規事業：15件、変更事業：17件、継続事業：159件、合計：191件

第８章　地域情報化の推進体制（P70～71）

1　地域の推進体制（P70）

⑴　いわき市地域情報化研究会　　⑵　産学官の連携・共創

2　庁内の推進体制（P70）

いわき市地域情報化推進本部及び幹事会により全庁的な体制で推進

3　計画の進行管理（P70～71）

⑴　毎年度の計画の見直し　　⑵　事業の進行管理